障害者控除対象者証明書

| 対 | 象 | 者 | 住 | 所 | | | | | |
|---|---|---|------|----|----------|---|---|----|-----|
| | | | 氏 | 名 | | | | 性別 | 男・女 |
| | | | 生年月 | 日 | 明治・大正・昭和 | 年 | 月 | 日 | |
| | | | 障害を伴 | 半う | | | | | |
| | | | 疾 病 | 名 | | | | | |

1. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度) ※該当する項目があれば、○で囲ってください。

| 項目 | 状 態 |
|----|--|
| A | 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない状態が6か月以上継続している。 |
| В | 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ状態が 6か月以上継続している。 |
| С | 一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する状態が 6 か月以上継続している。 |

2. 認知症高齢者の日常生活自立度 ※該当する項目があれば、○で囲ってください。

| 項目 | 状態 |
|----|---|
| П | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意し |
| | ていれば自立できる。 |
| Ш | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。 |
| IV | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要 |
| | とする。 |
| M | 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。 |

上記の者は、頭書の疾病により、現に治療を継続中であることを証明する。

年 月 日

| 医療機関名 | |
|---------|-------------|
| 所 在 地 | |
| 医 師 氏 名 | (FI) |

- (注) この証明書は、当該対象者に対して頭書の疾病により、継続して治療を行なっている医師が記載する こと。
- (注) この証明書は、6 5歳以上の寝たきり高齢者及び認知症高齢者の所得税、住民税控除を受けるためのものです。